

第17回定期総会・講演会開催される

日 時 2023(令和5)年6月17日(土) 10:00～20:00

場 所 藤沢市役所分庁舎 2階活動室2

総会は、水島事務局長より会員数62内正会員55(4月1日現在)出席会員37名(団体12、個人25)で定款27条に定める定数を満たし総会成立の報告の後、大田理事長の挨拶に続いて、来賓代表として阿部慎次危機管理課課長よりお言葉をいただき議事に入りました。互選により大田哲夫氏を議長に選任。大田哲夫氏より鈴木信夫氏を書記に佐藤俊平氏及び小林 亘氏を議事録署名人に選び、報告事項、提案事項について審議し全てが承認されました。



総会風景



藤沢市危機管理課
課長 阿部 慎次氏

■2022年度 事業報告・決算報告(要約)

FSVネットの存在を地域の自主防災組織に理解していただき、当ネットワークへの加入により日頃から顔の見える関係づくりとFSVネットを活用した地域防災力の向上促進と支援を計画しましたが、新型コロナウイルス拡散防止のための自粛要請により大半の事業が休止になりました。

- 市民活動及びボランティア活動を行う団体・個人のネットワーク化の推進。
 - ・災害を想定した連絡員による通信実証⇒中止。
- 災害時の活動・拠点及び情報伝達手段の整備、体制作り。
 - ・サテライトセンター設置支援。2022年11月6日善行総合防災訓練、参加4名、12月3日片瀬地区総合防災訓練参加6名、2023年3月5日明治地区総合防災訓練、参加5名。
 - ・情報伝達の体制づくり⇒中止
- 災害時を想定した趣味レーション訓練、各種講座の開催、広報啓発。
 - ・2022年9月3日藤沢市防災フェアにて紹介ブースを設置。10月16日市庁舎にて本部設置訓練参加者25人
- 災害ボランティアコーディネーター要請講座。
 - ・2023年2月25日湘南大庭地区にて開催、受講者13名、参加者7名。3月19日村岡地区にて開催、受講者16名、参加者9名。
- 会報、講座、講演等パンフレットの作成。
 - ・2022年7月「FSVネットニュース」総会

特集号発行。理事長、事務所変更に伴うパンフレット2000部作成。

- 防災セミナーの開催。
 - ・2022年10月26日「大規模災害時に於ける社協の役割」長後地区社会福祉協議会、13名参加。
- 相互理解の為の交流の場づくり。
 - ・シンポジウム、交流会参加⇒中止。
- 大規模災害被災地支援。
 - ・交流会、相談会、各種支援⇒中止。

●2022年度 収支決算概要

特定非営利活動に係わる事業会計

2022年4月1日より2023年3月31日まで

科 目	予算額	決算額	差異(予-決)
当期収入合計(A)	123,000	172,006	- 49,006
当期繰越収入差額	737,927	694,855	43,072
収入合計(B)	860,927	866,861	5,934
当期支出合計(C)	123,000	215,078	- 92,078
当期支出差額(A)-(C)	0	- 43,072	43,072
次期繰越収支差額(B)-(C)	737,927	651,783	86,144

地区別災害ボランティアコーディネーター数

1. 片瀬地区	27名	8. 湘南大庭	66名
2. 辻堂地区	16名	9. 六会地区	76名
3. 鶴沼地区	117名	10. 湘南台地区	9名
4. 村岡地区	121名	11. 遠藤地区	31名
5. 藤澤地区	22名	12. 長後地区	10名
6. 明治地区	8名	13. 御所見地区	3名
7. 善行地区	53名		
藤沢市合計		559名(2023年3月末現在)	

■2023年度事業計画

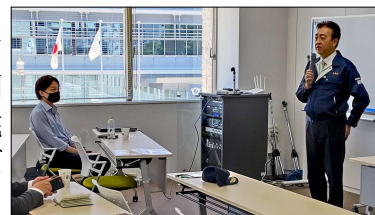
- 1、自主防災組織による地域防災力の向上支援
- 2、関係団体、行政との連携強化
 - ①市民活動及びボランティア活動を行う団体・個人のネットワーク化の推進
 - ②災害時の活動・拠点及び情報伝達手段の整備、体制づくり
 - サテライトセンター設置支援
 - 情報伝達の体制づくり/災害情報コーディネーター講座
 - ③災害時を想定したシュミレーション訓練、各種講座の開催、広報啓発
 - 災害救援ボランティアセンター設置・運営訓練 9月2日藤沢市総合防災訓練にて開設運営訓練、片瀬地区、長後地区、善行地区、村岡地区、明治地区等の総合防災訓練に参加
 - 災害ボランティアコーディネーター養成講座(初級・入門) 各地区市民センター、公民館、市分庁舎にて開催
 - 会報の発行2回
 - 講座、講演パンフレット等作成
 - 防災セミナー開催
 - ④相互理解のための交流の場づくり
 - シンポジウム、交流会参加
 - ⑤大規模災害被災者支援
 - ニーズに応じた各種支援

●2023年度収支予算書

科 目	予算額	備考
当期収入合計(A)	169,006	会費、事業費、広告等
当期繰越収入差額	651,783	
収入合計(B)	820,789	
当期支出合計(C)	168,500	事業費、管理費等
当期支出差額(A)－(C)	506	
次期繰越収支差額(B)－(C)	652,289	

★星野内閣府防災担当副大臣が参加

一般会員として内閣府防災担当副大臣の星野衆議院議員がご参加くださり、励ましのお言葉を賜りました。



星野議員のご挨拶

星野議員は2月に大庭地区で開催された災害ボランティアコーディネーター養成講座を受講されて、FSVネットの会員になりました。過去に国会議員でコーディネーター養成講座を受講された方はおらず、会員として参加くださった事は私達役員に取って力強い励みになりました。益々のご活躍を祈念申し上げます。

記念公園 「火山災害に対する取り組み」

大和青年会議所 理事長 小谷田 高穂 氏

総会閉会後記念講演会が大和青年会議所理事長の小谷田 高穂氏を講師にお招きし、火山災害に対する取り組みのお話を伺いました。大和市には過去に箱根火山の噴火による火砕流の痕跡が発見されており、富士山は宝永の噴火より300年以上噴火しておらず噴火の可能性は高まっており、噴火すれば横浜まで10cmの降灰が予測され、インフラ関連に甚大な被害が予想されています。交通、電気、農業、漁業にまで及び健康被害も予想されるとのことで、普段から交通停止や電気が来ない事を踏まえ備えがいかんにか大切であるかを熱く語られました。



火山噴火を模型で実験

藤沢市総合防災訓練に参加しスキルを高めよう！

日時 2023年9月2日(土) 午前10時から12時

場所 藤沢市消防防災訓練センター(藤沢市石川3417-1)

この訓練は被災地である藤沢が壊滅状態の中から「藤沢市地域防災計画」と「藤沢市災害救援ボランティアセンターに関する協定書」に基づき、災害救援ボランティア支援センターと災害救援ボランティアセンター立上げ運営し、ボランティアの派遣までの流れを検証します。また仮想被災者(訓練参加の自治会等)へのPRと養成講座を修了された皆様のスキルアップを目的に行われます。ぜひこの機会に体験し、さらなるスキルを身に着けませんか。

編集後記

今年は関東大震災より100年、この100年の間震災に対する技術の発展はすさまじくICTを利用した発展には目を見張るものがあります。しかしその反面火の扱いを知らず、恐怖すら薄れて行ってはしまいか。ボタン一つでお湯が沸き、マッチで火を着ける事もない。地震が起これば自動で火が消え、火事が起きてても消防車が来て消してくれる。しかし震災が発生すれば平時の様に消防車は来られない。「地震だ、まず火の始末」の言葉を再認識する年でもありたい。(T.O)

FSVネットニュース

発行者 大田 哲夫

発行所 特定非営利活動法人藤沢災害救援ボランティアネットワーク
〒251-0024 藤沢市鵠沼橋1丁目11-8

☎0466-22-5344 fax0466-22-5344

E-mail: fsvnet@arts-k.com

